



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和3年度 12月

新しい年に向けて

校長 浅野 謙一

2学期のスタートは、新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が出され、全く先行きが見えない不安なスタートでしたが、ようやく新型コロナウイルスの感染拡大も少し落ち着き、学校生活における様々な制限も少しずつ緩和されてきました。しかし、新たな変異株の動向も気になるところで、引き続き感染予防策の徹底をしながら、様々な活動を進めていかなければと心を引き締めています。

2年生が9月の終わりに計画していた野外活動が、期間を1泊2日に、目的地を愛知県美浜少年自然の家に変更して実施されました。2泊3日で準備していた活動を急に1泊2日に縮小したことで、担当の教員も実行委員の生徒たちも大変苦労したと思いますが、穏やかな天候にも恵まれ、計画していた活動すべてを滞りなく終えることができました。最後の退所式では、施設の方から「とても雰囲気の良い、爽やかな学校ですね」とお褒めの言葉をいただきました。

さて、数年前のお正月に目にした広告があります。右にあげたのがその広告です。

まず、上から順番にこの広告を読んでみてください。どのように思いましたか。自分はどうせできないと初めからあきらめてしまう人の姿が浮かびます。ひょっとしたら、せっかく決めた目標を一度や二度の失敗であきらめてしまっている人はいませんか。次に、この広告を下から読んでみてください。どのように思いましたか。最後まであきらめず、自分の力を信じ、努力を続ける人の姿が浮かびます。最初からあきらめてしまっただけは何も変わりません。土俵際の絶体絶命の時でもあきらめず、努力を続ければ、きっと大逆転は起きるものです。

自分の力を信じ、最後まであきらめず、努力を続けることができる人間に成長できるよう、新しい年に向けて自分の目標や挑戦することを決めてみましょう。

旭中教職員一同、このような生徒を育てられるよう努力をしてみたいです。保護者や地域の方々におかれましても、ご理解とご協力をいただき、来年もよろしくお願ひいたします。

大逆転は、起こりうる。

わたしは、その言葉を信じない。

どうせ奇跡なんて起こらない。

それでも人々は無責任に言うだろう。

小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。

誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。

今こそ自分を貫くときだ。

しかし、そんな考え方は馬鹿げている。

勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。

わたしはただ、なすすべもなく押し込まれる。

土俵際、もはや絶体絶命。

野外活動の様子から

2年生は、12月13日・14日に野外活動を実施しました。若狭湾青少年自然の家から美浜少年自然の家へ行き先や日程など変更がありましたが、晴天に恵まれ、予定していた活動を全て実施することができました。



海岸や森の中を班ごとに回るウォークラリーでは、慣れないコマ図を手掛かりに、班員同士協力して進んでいました。全体的にスムーズに進み、時間内に到着する班がほとんどでしたが、道に迷ってしまった班もあったようです。成功体験も大切ですが、トラブルに遭った時どう対処するかを学ぶことも大変貴重な経験です。



また、今回の野外活動は、キャンドルファイヤー、室内運動会など実行委員がとなって計画し、運営をする活動が多く、生徒が自分たちで作り上げた野外活動となっていました。

書き損じはがきの集約にご協力を

県のPTA連絡協議会より、「書き損じはがき」の回収が今年も行われます。集まった収益金はPTA活動の活性化を図る資金に充てられます。未投函のもの（書き損じと思われるものうち、汚れ、破れのないもの）で、年賀はがき以外のはがきや、古いものでも構いませんのでご協力をお願いします。回収時期は1月7日（金）～1月31日（月）です（お年玉付き年賀はがきの抽選日は1月16日（日）です）。各学級担任または教頭にお渡しください。集約されたはがきは委託業者（株）オックスフォードインターナショナルにて適正に処理をされ、個人情報の漏洩の心配はありません。